



# 生き生きとした目と心をもった子 まつぼっくり

中西別小学校だより・PTAだより・育成会だより No.12 令和4年2月28日(月)発行

発行：中西別小学校  
校長：打川 真由美  
PTA会長：伊藤 基一郎  
育成会会長：関口 政広

## 学校教育目標と「中西別のアイデンティティ」



新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大した衝撃的な2020年2月から、学校は2年以上、感染リスクの中で子ども達の命と健康と生活を守りながら、笑顔と成長いっぱいであり続けるために、考え、話し合い、選択と判断を続けてきました。そんなピンチの時代でも、中西別小学校の子どもたちは、今できること、希望、喜びを見つけ、どんな時も仲間と力を合わせて前に進んできました。そのたくましさやしなやかさは、家族と地域に大切に育まれてきた中西っ子の強みだと、いつもたのしく見えています。

2021年は、中西別の地域・保護者の皆さんと、次の時代の教育と学校のあり方について意見を交流し、共に青写真を描いた年でした。時代背景、地域の今日的な課題、理想と現実・・・様々な視点から問題を見つめ、問いかけ合い、異なる意見も尊重して傾聴と対話を繰り返しながら前に進む保護者と中西別の皆様の姿に深く感動し、中西別小学校の教職員として関わられる誇りを感じました。

保護者や地域の皆様が生き方で体現し、中西っ子たちの心に浸透している「中西別らしさ」と「強み」を、学校運営協議会の中で委員の方が「中西別のアイデンティティ」と表現されていました。心に刺さりました。中西別の地域と学校が90年以上かけて築き育ててきたスピリッツです。きっと、この長い年月には、大きな社会の変化や自然災害等のピンチが数多くあったことでしょう。その度に中西別の方々は、様々な視点から問題を見つめ傾聴と対話を繰り返し、希望と喜びと今できることを見出しながら、仲間と共に前に進んできたのでしょう。その結実が「中西別のアイデンティティ」なのだと思います。



人間関係スキルアップ授業  
(1・2年生)より

令和の時代に入り、学校は教育の大改革時代を迎えています。コロナ禍の数々の問題が教育改革を更に加速させ、学校はこれまで経験したことがないスピードと質と量の変革と刷新をしています。

昨年出された中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」では、子どもたちに育むべき資質・能力を、「一人一人の児童生徒が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となること」と明示されました。新しい時代の学校教育が目指す子どもの姿は、「中西別のアイデンティティ」そのものです。このことから、本校の使命は「中西別のアイデンティティ」を受け継ぎ、誇りをもって更に発展させていくことだと確信しました。



授業「いのちのつながり」  
(2年生)より

そこで、本校の教育目標を令和4年度から新たにします。

**(新) 中西別小学校の教育目標** (令和4年4月1日より)

**ふるさとを愛し、主体的・協働的に学び、未来を切り拓く子どもの育成**  
**～やる気・根気・元気・思いやりの心～**

「中西別のアイデンティティ」の継承と発展を「学校教育目標」として言葉に起こし、子ども、学校、家庭、地域で共有して前に進んでいきます。このことは、参観日全体懇談で直接ご説明する予定でしたが、感染拡大防止の方策として全体懇談を紙面開催にしましたので、学校便りでお伝えしました。

明日から3月です。成長を実感し、進級・進学後の新生活につながる学校生活にしていきたいので、引き続きご協力をお願いいたします。